

千葉美容専門学校

学校自己評価報告書

(令和3年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか

2. 学校運営

- 目的に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った、事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか
- 人事、給与に関する規定などは整備されているか
- 教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか

3. 教育活動

- 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか
- 美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけされているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修は行われているか

4. 学習成果

- 就職率の向上はなされているか
- 美容師資格の取得はなされているか
- その他美容関連の資格取得はなされているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理の支援体制は整備されているか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援体制はあるか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
- 学校外の実務実習、インターンシップの体制は整備されているか
- 海外研修などの実施の体制は整備されているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか
- 学費は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務に関する会計監査は適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできている

9. 法令などの遵守

- 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極定期に行われているか

1. 教育理念・目標

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4

現状

本校は、教育基本法並びに美容師法の精神に則り、生徒の個性に応ずる専門教育を施すことはもちろん、技術面においても、最も優れた美容師として、社会的責務の遂行をはかり、公衆衛生の維持増進に寄与し、かつ、人格的にも堅実、有能な美容師を養成することを目的とする。

本校は、千葉県下に2,500店もの美容室が加盟する千葉県美容業生活衛生同業組合を母体に、次世代を担う後継者を養成するために設立された美容専門学校です。

業界に役立つ人材を育てることを柱に、「学生に夢を与える」「幅広い資格取得を支援する」「学生の望む就職をさせる」という三つの教育方針を掲げ、プロとしての技術や知識を指導するだけでなく、組合サロンの協力を得て実務実習を行うことなどにより、学生一人一人の自立心と向上心を高めることを目的としています。

課題と改善点

- 本校は、千葉県内の美容室経営者が集まりである千葉県美容業生活衛生同業組合が設立母体である関係上、美容師の資格が取得できる「美容科」しかない、単科専門学校であります。従って将来構想においても、社会のニーズが変化しても、美容師という制約の

中でしか将来構想を抱けません。しかし、逆に「美容師」の養成に特化する学校として生き残っていくべきであろう。

2. 学校運営

評価 適切…… 4 ほぼ適切…… 3 やや不適切…… 2 不適切…… 1

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4
人事、給与に関する規定などは整備されているか	4
教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	3

現状

- 運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、これを教務会議・学年会議を通して、周知徹底している。
- 学校運営組織は、校長をトップに教頭、教務主任、学年主任がこれを補佐する形で運営されている。
- 人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

課題と改善点

- 学校運営においては校長がこれを行うが、学校経営は組合の理事会が行い、トップは選挙で選ばれた理事長である。理事及び理事長には任期もあり、長期的な視野にたった経営が難しい体制である。
- 教育活動に関することについては、本校のHP等により情報公開に努めている。今後一層の充実を図っていきたい。

3. 教育活動

評価 適切・・・ 4 ほぼ適切・・・ 3 やや不適切・・・ 2 不適切・・・ 1

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	4
美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	3

成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4
人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

現状

- 組合理事の委員と校長と教頭が参加する学校委員会（教育課程編成委員会）があり、この委員会が学校行事やカリキュラム、教科科目の見直しなどを行っている。
- 千葉県内の美容室経営者が学生指導のバックアップをしてくれており、学校内の授業だけでなく美容室の現場に行き、学習する実務実習（インターンシップ）を行い、より実践的な教育を行っている。
- 授業評価については、3学期制を行っており、学期ごとに各教科・科目の成績と単位認定をしており、進級・卒業判定は明確に定められている。
- 資格取得については、特に美容師資格の取得については、これが美容専門学校の最大の目的でもあるので、カリキュラム上でも重点科目となっている。また、他の資格取得についても対策指導を行い、学生の取得を奨励している。
- 教員の資質向上については、日本理容美容教育センターや関東地区養成施設教職員研修協議会が実施する研修会や学習会に積極的に参加を奨励している。

課題と改善点

- 法律上、現状の美容師養成施設において学ばなければならない教科科目と、今の美容師試験の受験科目が現在の美容業界が求める人材と乖離しており、この点での改善を図りたい。

●平成 30 年 4 月 1 日より美容師養成施設指定規則が改正され、美容師養成施設の授業科目や授業時間が以下のように変更になりました。

現行			改正後		
科目名	単位	時間	科目名	単位	時間
関係法法規・制度	1	30	関係法法規・制度	1	30
衛生管理	3	90	衛生管理	3	90
美容保健	4	120	保健	3	90
物理化学	3	90	化粧品化学	2	60
美容文化論	3	90	文化論	2	60
美容技術理論	4	120	美容技術理論	5	150
美容運営管理	2	60	運営管理	1	30
美容実習	27	810	美容実習	30	900
必修科目計	47	1,410	必修科目計	47	1,410
選択科目	20	600	選択科目	20	600
合計	67	2,010	合計	67	2,010

●この改正により本校の授業時間を 50 回生より、以下のように変更します。

科目名	現行			改正後		
	1年	2年	合計	1年	2年	合計
関係法規・制度	20	10	30	20	10	30
衛生管理	30	60	90	30	60	90
保健	60	60	120	30	60	90
化粧品化学	60	60	120	30	30	60
文化論	30	60	90	30	30	60
美容技術理論	60	60	120	60	90	150
運営管理	30	30	60	20	10	30
美容実習	520	320	840	660	300	960
選択科目	144	508	652	210	400	610
合計	954	1,168	2,122	1,090	990	2,080

●美容師筆記試験科目は、今までは関係法規・制度、衛生管理、美容保健、物理化学、美容理論の 5 科目であったが、今の 2 年生である 50 回生の受験（第 41 回美容師試験）からは、文化論と運営管理が新しく美容師試験科目に追加される。

4. 学習成果

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	4
美容師資格の取得はなされているか	4
その他美容関連の資格取得はなされているか	4
退学率の低減が図られているか	1
卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

現状

●最近の当校における生徒入学数・卒業者数・退学数・就職者数（昼間生）

年度	入学者数	卒業者数	退学数	休学数	就職者数
22年度生	125名	106名	16名	2名	103名
23年度生	137名	116名	20名	1名	114名
24年度生	118名	112名	5名	(通信課程に転入1名)	108名
25年度生	117名	105名	11名	(通信課程に転入2名)	102名
26年度生	92名	79名	13名	0	78名
27年度生	83名	68名	7名	0	66名
28年度生	88名	84名	2名	2名	82名
29年度生	83名	68名	14名	1名	66名
30年度生	80名	58名	22名	1名	58名
31年度生	68名	56名	10名	2名(うち通信課程に転入1名)	56名
2020年度生	72名(複学1名)	65名	5名	2名(うち通信課程に転入1名)	64名
2021年度生	62名)				

●最近の当校における美容師試験合格率（卒業生は全員が受験）

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	2020年	2021年	2022年
87.4%	96.2%	93.7%	92.6%	92.9%	92.6%	91.4%	94.5%	96.9%

- 美容師資格の取得以外でも各種検定の取得を積極的に奨励している。

令和2年度検定取得状況

サービス接遇検定		メイク検定 I	メイク検定 II	ネイル検定	Lash artist	色彩検定	
準1級	1名	メイクアップアーティスト協会	UTOWA ACADEMY		LEVEL 2	AFT 色彩検定	
2級	3名	レベル I	応用コース	3級	Basic	2級	3級
3名	22名	12名	12名	4名	4名	4名	20名

- 卒業生については同窓会が組織され、1年おきに総会・懇親会を実施しており、親睦と卒業生の動向把握に努めている。

また、今年度直近の3年間の卒業生にアンケートを郵送し、卒業後の動向の調査に努めているが、直近3年間は本校の50周年事業、コロナ禍により総会を実施ができていない。来年度は実施したい。

●通信生の状況

年度	2012年度生	2013年度生	2014年度生	2015年度生	2016年度生	2017年度生	2018年度生	2019年度生
入学者数	44名	49名	43名	52名	34名	38名	31名	31名
卒業者数	25名	37名	29名	35名	25名			
美容師試験合格率	70.8%	64.9%	79.3%	45.7%	48.0%			

課題と改善点

- 昼間生・通信生とも入学者が減少傾向にあり、体験入学・入試方法の改善などを行い、増加に努めている。
- 退学率は回生によって増減があるが、今の在學生である50回生は過去にない退学数になっており、問題である。問題の早期発見に努め、低減したい。
- 美容学校は、美容試験に合格することは当たり前と考えていたが、最近では100%には届かない状況である。なんとか95%以上の合格率に近づけたい。
また、通信課程の合格率も近年順調に上がってきたものが、今年も50%も切ってしまうっており、全国の合格率より悪くなってしまった。スクーリングやり方も考えていきたい。
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用については今後の課題である。

5. 学生支援

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援体制はあるか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

現状

- 進路・就職相談については、担任が窓口になり、本人の希望や業界とのマッチングに努めている。また、校内において就職ガイダンスを実施し、多数の美容室に学校に来校してもらい、直接に美容室と学生を合わせ就職活動の一助にしている。

最近の卒業者数と就職者数

年度	25年度生	26年度生	27年度生	28年度生	29年度生	30年度生	31年度生
卒業者数	105名	79名	68名	84名	68名	84名	68名
就職者数	102名	78名	66名	82名	66名	82名	65名

卒業生で就職を希望している学生は、全員が就職している。就職先としては、殆どの学生は美容室に就職し、少数が化粧品会社・エステサロン・ネイルサロンである。また、美容室においては8割が県内に就職している。

- 入学後、経済的事情により学業継続が難しい学生に対して、奨学金を貸与している。
 - ・名称 千葉美容専門学校奨学金
 - ・貸与金額 1年次後期から貸与し、半期授業料・実習費を貸与する。最大3期までとする。1期は33万円で返済は無利息である。
 - ・返済 49回生から学費値上げのため、卒業後月に11,000円ずつ返済。千葉県内の組合店美容室に就職した場合、半期のみ借りた者は2年間、最大3期分借りた者は6年間返済すれば、後の返済は免除する。

最近の貸与状況

年度	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		1年度		2年度	
前・後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
貸与実績	1名	2名	0名	3名	3名	3名	2名	1名	1名	3名	1名	0名	0名	0名

●入学金免除制度

入学希望者が次のような方の場合には、入学金 150,000 円の一部を免除する制度です。

- ・指定校推薦入試で合格者 80,000円免除
- ・学校推薦入試で合格者 50,000円免除
- ・AO入試前期出願者 75,000円免除
- ・本校卒業生または在校生の兄弟姉妹、子、孫 75,000円免除
- ・千葉県美容業生活衛生同業組合の加入美容室から紹介を受けた方 75,000円免除

●特待生制度

- ・一般入試
 - A特待生合格者(3名まで) 150,000円免除
 - B特待生合格者(制限なし) 100,000円免除
 - C特待生合格者(制限なし) 50,000円免除
- ・2年生進級時特待生 (2年次の授業料)
 - 前期 100,000円免除
 - 後期 100,000円免除
 (学業成績、出席状況、生活態度により総合判断)

●奨学金生制度(学内)

- ・千葉美容専門学校奨学金(貸与型・無利子 5名まで) 入学後の募集
1年次後期より学費分を貸与
- ・校外技術コンテスト(給付型 15名まで) 教材・エントリー料を援助

●経済的支援については、特待生制度や千葉美容専門学校奨学金制度を活用し支援している。

●2020年より始まった国による高等教育就学支援制度により、経済的な理由により進学及び学業継続が難しい学生を対象に給付型奨学金の増額や入学金、授業料を支援する制度を利用できます。本校もその支援の対象校となるべく毎年申請し対象学校として許可をいただいています。

●校内だけでなく校外の美容技術コンテストを目指すためのクラブ活動を放課後実施している。多数の学生が入賞している。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	
開催場所	群馬県	茨城県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	千葉県	千葉県	千葉県	大阪府
入賞者数	3名	0	4名	7名	7名	2名	5名	7名	1名

その他の技術大会としては、千葉県美容学生技術大会で各部門入賞。東京国際ビューティフェスティバルにて入賞など、参加希望の学生に指導し多数の学生が入賞している。

- 欠席が多い学生の保護者に連絡し、保護者との面談も実施している。また、その程度によって、学年主任、校長との面談も行っている。

ただし、出席率の改善が必要である。

- 単位未習得の学生には夏休・冬休・春休の長期休業中、ないしは卒業式後に補講を実施し、進級・卒業認定の支援としている。

- 千葉県専修学校協会と連携し、夏休み期間に学びの場（2日間）という講座を設けている。

- 2年次の4月から11月までに生徒自由選択科目として、7科目から1科目を選び、授業を行っている。

令和3年度（53回生）選択状況

科目	着付	カラー	ヘアー	ネイル	メイク	アイラッシュ	エステ
人数	2名	10名	19名	12名	9名	9名	4名

1年生の54回生の選択希望状況

科目	着付	カラー	ヘアー	ネイル	メイク	アイラッシュ	エステ
人数	11名	10名	16名	8名	2名	11名	2名

課題と改善点

- 社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、今後の課題である。

6. 教育環境

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
学校外の実務実習、インターンシップの体制は整備されているか	5
海外研修などの実施の体制は整備されているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

現状

- 実務実習については、組合美容室の協力により、毎年1年2年次の夏休み・1年次春休みに5日～7日間1店舗に一人ずつ違う店舗にて実施している。
- 本校では毎年パリやロンドンにヨーロッパ研修を行ってきたが、最近のテロ事件により中止になったり、ヨーロッパの代わりにロサンゼルスでの研修を行ってきました。

昨年度からヨーロッパでもイタリアでの研修を実施することにしました。今年度も同じくイタリアでの研修を実施し、参加者は、30名でした。経済的な事情で参加が難しいのであろうが、以前は7～8割が参加していました。

課題と改善点

- 施設・設備については今の教育を実施する上では充分だが、今後の社会の変化によって、必要な施設や設備を増やすだけの余裕がない。
- 防災設備は整えており、非常食、非常飲料も備えている。また、防災計画はあるが避難訓練等は年に1回しか実施しておらず充分ではない。

7. 学生募集

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	4
学費は妥当なものとなっているか	4

現状

●千葉県内美容師養成施設への昼間課程生徒入学数

学校名	定員	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
千葉美容専門学校	120名	88名	83名	80名	68名	72	71名
A校	160名	76名	100名	127名	139名		
B校	80名	50名	47名	40名	41名		
C校	120名	91名	120名	78名	79名		
D校	80名	34名	40名	60名	70名		
E校	80名	65名	74名	54名	60名		
F校	35名	—	—	12名	?名		

県内の美容学校数(併設校を含む)が30年度から1校増え、7校になったが、千葉中央にある三幸学園の千葉ビューティーアンドブライダル専門学校が新たに美容師学科を開校するため、来年度から千葉県では美容師養成施設は8校になります。

- 入学案内書及び募集要項を毎年作成し、3月から8月までは、月2～3回は体験入学を定

員 20 名で実施し、10 月からは学校説明会、と体験入学、入学個別相談会などを夏休み以外
は土、日曜日に実施し募集活動に努めている。

- 説明会やHPにより、在校生・卒業生の教育成果を正確に伝えるよう努めている。
- 募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。1998 年度の美容
学校が 2 年制になってから、学費の値上げをしていなかったが、2017 年度から学費の値
上げを行なった。

課題と改善点

- 学生募集活動は積極的に行っているが、定員に達していない状態が続いている。今後活
動の方法を模索している。体験入学の方法、入試の方法の多様化を実施している。
- ホームページを刷新しスマホ対応になり、体験入学などへの申し込みが楽になった。
※来年度のオープンキャンパスと個別相談会の日程は別紙のとおりに予定している。

6. 財務

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

現状

2018年度 部門別合計残高試算表(損益計算書)

千葉県美容業生活衛生同業組合
103 美容組合学校会計

税込
単位：円
財務

平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

勘定科目	前残	借方金額	貸方金額	残高	構成比
学校事業収入 513	0	6,374,900	157,925,200	151,550,300	81.84
補助活動収入学 514	0	3,908,784	37,540,524	33,631,740	18.16
純 売 上 高	0	10,283,684	195,465,724	185,182,040	100.00
売 上 総 利 益	0	0	185,182,040	185,182,040	100.00
学校会議費 712	0	294,492	0	294,492	0.16
通信費 715	0	1,015,080	44,369	970,711	0.52
水道光熱費 716	0	3,654,777	468,739	3,186,038	1.72
県内行動費 717	0	273,692	0	273,692	0.15
県外行動費 718	0	906,024	3,468	902,556	0.49
福利厚生費 719	0	490,267	13,666	476,601	0.26
出勤実弁費 720	0	293,920	67,200	226,720	0.12
交際接待費 721	0	88,172	0	88,172	0.05
新聞図書費 722	0	16,200	0	16,200	0.01
印刷費 723	0	6,796,676	2,389,560	4,407,116	2.38
旅費交通費 725	0	3,405,950	723,380	2,682,570	1.45
消耗品費 726	0	2,376,465	1,811	2,374,654	1.28
事務用品費 727	0	469,235	0	469,235	0.25
負担金 728	0	384,150	18,000	366,150	0.20
会場費 737	0	1,626,513	0	1,626,513	0.88
講師報酬 743	0	7,730,820	90,000	7,640,820	4.13
整備管理費 744	0	1,657,073	165,707	1,491,366	0.81
租税公課 745	0	1,848,900	994,200	854,700	0.46
修繕費 750	0	4,511,428	1,405,500	3,105,928	1.68
教育センター費 751	0	4,100,330	0	4,100,330	2.21
研修費 752	0	55,000	0	55,000	0.03
幹旋教材費 753	0	26,068,245	611,164	25,457,081	13.75
教材費 754	0	115,661	0	115,661	0.06
支払保険料 755	0	447,670	44,767	402,903	0.22
広告宣伝費 756	0	8,431,954	0	8,431,954	4.55
衛生費 757	0	2,250,936	20,976	2,229,960	1.20
賃借料 758	0	721,768	0	721,768	0.39
補助金 759	0	2,001,559	168	2,001,391	1.08
支払手数料 761	0	259,038	0	259,038	0.14
繰延資産償却費 762	0	28,846	0	28,846	0.02
減価償却費 763	0	3,233,826	0	3,233,826	1.75
給料 766	0	66,123,240	16,530,810	49,592,430	26.78
賞与 767	0	17,145,000	4,286,250	12,858,750	6.94
諸手当 768	0	6,853,503	1,713,378	5,140,125	2.78
法定福利費 770	0	15,418,030	4,463,826	10,954,204	5.92
退職共済金 772	0	1,248,000	312,000	936,000	0.51
雑費 775	0	393,747	432	393,315	0.21
廃棄損 777	0	5,104	0	5,104	0.00
販売費及び一般管理費計	0	192,741,291	34,369,371	158,371,920	85.52
営業損益	0	0	26,810,120	26,810,120	14.48
経常損益	0	0	26,810,120	26,810,120	14.48
税引前当期純損益	0	0	26,810,120	26,810,120	14.48
当期純損益	0	0	26,810,120	26,810,120	14.48

2018年度千葉美容専門学校合計残高試算表

貸借対照表

税込

単位：円

財務

平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

勘定科目	前残	借方金額	貸方金額	残高	構成比
現金 111	875,742	12,336,727	11,827,837	1,384,632	1.06
普通預金 学 133	150,017,071	202,801,046	228,286,564	124,531,553	95.52
現預金計	150,892,813	215,137,773	240,114,401	125,916,185	96.58
当座資産計	150,892,813	215,137,773	240,114,401	125,916,185	96.58
商品 171	459,396	287,584	459,396	287,584	0.22
貯蔵品 178	2,824,223	2,444,909	2,762,036	2,507,096	1.92
棚卸資産計	3,283,619	2,732,493	3,221,432	2,794,680	2.14
立替金 182	7,020	3,035,494	3,042,514	0	0.00
未収金 184	592,040	30,000	66,000	556,040	0.43
前払費用 185	2,468,470	3,020,079	4,378,870	1,109,679	0.85
その他流動資産計	3,067,530	6,085,573	7,487,384	1,665,719	1.28
流動資産合計	157,243,962	223,955,839	250,823,217	130,376,584	100.00
資産合計	157,243,962	223,955,839	250,823,217	130,376,584	100.00
未払金 322	6,948,021	6,948,021	2,207,357	2,207,357	1.69
前受金 324	69,641,689	69,781,689	57,044,600	56,904,600	43.65
預り金 326	3,138,271	46,088,305	46,018,600	3,068,566	2.35
その他流動負債計	79,727,981	122,818,015	105,270,557	62,180,523	47.69
流動負債合計	79,727,981	122,818,015	105,270,557	62,180,523	47.69
負債合計	79,727,981	122,818,015	105,270,557	62,180,523	47.69
資本金 411	0	0	0	0	0.00
資本準備金 421	0	0	0	0	0.00
法定準備金 422	0	0	0	0	0.00
特別準備金 423	0	0	0	0	0.00
退職準備金 424	0	0	0	0	0.00
繰越利益剰余金	0	0	26,810,120	26,810,120	20.56
その他利益剰余金計	0	0	26,810,120	26,810,120	20.56
利益剰余金計	0	0	26,810,120	26,810,120	20.56
株主資本計	0	0	26,810,120	26,810,120	20.56
純資産合計	0	0	26,810,120	26,810,120	20.56
内部処理勘定 451	0	39,960,120	567,408	-39,392,712	-30.21
部門間振替	77,515,981	0	3,262,672	80,778,653	61.96
負債・純資産合計	157,243,962	162,778,135	135,910,757	130,376,584	100.00

●会計監査は適正に実施している

課題と改善点

●会計報告は毎年、千葉県衛生指導課に報告しているが、また、自己評価としてHP上にも掲載している。

7. 法令などの遵守

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価を公開しているか	3
第三者評価をおこなっているか	1

現状

- 美容師法、専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。
個人情報に対しては、十分に注意し、職員にも指導している。
- 自己評価については、就職・資格など自己評価を行い、これをHP上で公開している。

課題と改善点

- 第三者評価はまだ行ってない、今後の課題である。

10. 社会貢献・地域貢献

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	2
学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極定期に行われているか	2

現状

- 学生のボランティア活動については、千葉県美容師が行う、ボランティア活動などに積極的に参加している。
- 地域のお祭りや行事に学生や職員が積極的に参加している。

課題と改善点

- 本校の校舎が、千葉県美容会館ともなっているため、県内の美容師のための講習会などには使用しているが、地域住民や社会には貢献していない、今後は方法を考えたい。